

DMP、9月10日にEdgeAIソリューションセミナーを開催

～最新のエッジ AI とイメージセンサーの統合による新たな価値の創出～

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル(本社:東京都中野区、代表取締役会長兼社長 CEO:山本 達夫、以下当社)は、2025年9月10日(水)に「Making the Image Intelligent Together」～最新のエッジ AI とイメージセンサーの統合による新たな価値の創出～と題した、当社主催の EdgeAI ソリューションセミナーを開催いたします。

当社は、日本国内でも数少ない GPU を自社設計・開発できる技術力を有し、近年は、映像をリアルタイムで解析・判断するエッジ AI 技術を磨いてまいりました。本セミナーでは、その結晶であるエッジ AI 推論 SoC「Di1」によるリアルタイム画像認識・物体検出のデモンストレーションも実施いたします。各分野の第一線で活躍するエキスパートから、エッジ AI の最新動向とビジネス活用のヒントが得られる貴重な機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催概要

イベント名	「Making the Image Intelligent Together」 ～最新のエッジ AI とイメージセンサーの統合による新たな価値の創出～
会期	2025年9月10日(水)11:00-18:00(10:30 開場)
会場	中野セントラルパークカンファレンス および オンライン (東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス B1F) https://maps.app.goo.gl/GgqBvvo3L2vpWGoA7
主催	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル
参加費	無料(事前登録必須)
登録サイト	参加登録サイトはこちら
来場者特典	会場にて当社セッションにご参加いただいた方、先着 100 名様にお弁当をご用意いたします。

セミナータイムスケジュール

講演時間	11:00-11:40
セッションタイトル	生成 AI 時代における映像解析の意義と取り組み
概要	ChatGPT をはじめ生成 AI の活用が広がる中で、情報量の多い「映像」をどのように活用するかがポイントです。個人情報を含む可能性があり、データ量自体も膨大な「映像」の扱いにはリスクもあります。 その課題にエッジ解析をキーワードに取り組んでいるソフトバンクが目指す世界をご紹介します。新しいビジネスの創出につながるヒントになれば幸いです。
登壇者	ソフトバンク株式会社 法人統括 IoT & プラットフォーム本部 サービスデザイン統括部 AI 映像サービス部 サービスデザイン課 課長 松下 英樹

講演時間	12:10-12:50
セッションタイトル	Di1 が切り開くエッジ AI カメラの未来
概要	<p>DMP の開発責任者が、エッジ AI カメラ向け SoC「Di1」の特徴を交えながら、エッジ AI の具体的な活用シーンとその実現方法をご紹介します。</p> <p>製品へのエッジ AI 導入を検討されている方にとって、アイデア収集の場としてもぜひご活用ください。</p> <p>セミナー終了後には、現在の課題について弊社エンジニアに直接ご相談いただくことも可能です。</p>
登壇者	<p>株式会社デジタルメディアプロフェッショナル</p> <p>執行役員 開発本部長</p> <p>勝又 大満</p>
講演時間	13:20-14:00
セッションタイトル	From Pixels to Precision: The Crucial Role of ISP in AI Vision for Industrial Automation, Automotive Safety and Home Security
概要	<p>This presentation introduces iCatch’s advanced ISP technology, focused on achieving superior image quality. It begins by outlining the critical challenges and requirements that ISP image processing faces in modern vision systems. Intelligent vision systems—whether for home, industrial automation, or automotive environments—rely on advanced CMOS image sensors and may also incorporate depth, thermal, radar, or IR sensors.</p> <p>The ISP possesses the capability to process and enhance these diverse inputs, producing images suitable for both human viewing and machine analysis, such as video analytics. To meet these evolving challenges, iCatch’s latest ISP solutions address the requirements of both user and machine vision applications.</p> <p>A live demonstration will highlight the outstanding real-world performance of our new ISP. Key technical advancements include maximizing dynamic range and reducing noise to improve the human visual experience, as well as optimizing detail and clarity for superior machine vision and detection accuracy. Di1 delivers high dynamic range, low noise, clarity, and minimal distortion images—significantly advancing both visual quality and machine vision performance. With these innovations, iCatch’s ISP technology sets a new standard in intelligent imaging solutions.</p>
登壇者	<p>iCatch Technology, Inc.</p> <p>CTO</p> <p>CY Wu</p>

講演時間	14:10-14:50
セッションタイトル	次世代ビジョンシステムとセンサー技術の進化【会場限定】
概要	オートモーティブ、セキュリティカメラ、マシーンビジョンカメラ、プロコンスーマカメラ、AR/VR カメラのトレンドと各アプリケーションに求められるテクノロジー要求、そのテクノロジーを実現するためのイメージセンサー機能と代表的なイメージセンサーを紹介します。
登壇者	OMNIVISION Technologies, Inc. マーケティング シニアマーケティングマネージャー 木村 英樹
講演時間	15:20-16:00
セッションタイトル	「オープンプラットフォームで切り拓く次世代エッジ AI カメラの可能性」
概要	本セッションでは、柔軟性と拡張性を兼ね備えたオープンプラットフォーム型エッジ AI カメラモジュールをご紹介します。 システムインテグレーター、AI ハウス、SaaS 企業、OEM 企業との連携を通じて、最終ユーザーのニーズに応える最適なソリューション構築を目指す i-PRO の取組みと製品を解説します。
登壇者	i-PRO 株式会社 OEM/VSaaS Japan BU シニアバイスプレジデント 高橋 秀明
講演時間	16:10-16:50
セッションタイトル	AWS ではじめる・ひろげる、スマートプロダクト&サービス
概要	新たなビジネス機会創出と付加価値獲得を目指し自社製品のスマートプロダクト化を目指す皆様へ。 このセッションでは AWS のサービスを活用した製品のスマートプロダクト化とサービス提供の方法について、お客様事例を交えて概観をご紹介します。 IoT デバイスとクラウドの接続、データ分析や AI/ML の利活用、継続的な改善は課題となりがちですが、AWS の多彩なサービスが運用負担を軽減し、ビジネスへの注力を可能にします。
登壇者	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 広域事業統括本部 ストラテジック営業本部 アカウントマネージャー 山田 知樹

■ 会社概要

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル(DMP)

DMP は、GPU および AI 分野における独自のコア技術を核に、顧客の製品競争力向上に貢献する IP ライセンスおよび SoC・モジュール等の製品を提供する研究開発型企業です。詳細については、<https://www.dmprof.com/> をご覧ください。

©2025 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル DMP、DMP ロゴは株式会社デジタルメディアプロフェッショナルの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。